

対策① 朝礼の実施について

1 標準化

何故	何を	誰が	いつ	どうする
基準の逸脱防止のために	朝礼を	リーダーが	作業前に	実施する

2 詳細

朝礼では以下①～⑤を実施すること。

①「剪定安全就業基準」に逸脱していないか

リーダーは「剪定安全就業基準」を手に持ち、各チェック項目に抵触していないか確認する。（服装や、伐採作業の補助者を選任など）

②KY（危険予知）活動の実施

KY活動とは？

KY（危険予知）活動とは、職場で起こり得る事故を未然に防ぐために実施する活動です。就業前に「どのような危険があるのか」をチームで話し合い、作業者自身が対策を考え実行することが目的です。

リーダーは、危険が潜むポイントを班員と話し合い、対策を決める。

(例)

- ・この枝は枯れていて折れやすい為、体重を掛けないようにしよう。
- ・ここは滑りやすい為、三脚は置かないようにしよう。

③体調の確認

リーダーは班員の健康状態を確認する。とくに二日酔いや寝不足は事故の元であるため注意すること。

④物損の確認

リーダー及び安全管理者は、作業前に物損している箇所（車の傷など）がないか確認する。物損箇所があれば、安全管理者が写真を取り事務局に報告する。（過去にも「シルバーが車をキズ付けた」など理不尽なクレームを受けています。）

⑤ハチの確認

リーダー及び安全管理者は、ハチがいないか確認する。